

5. 管路施設ストックマネジメント支援システム

概要

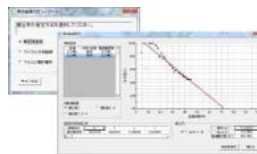
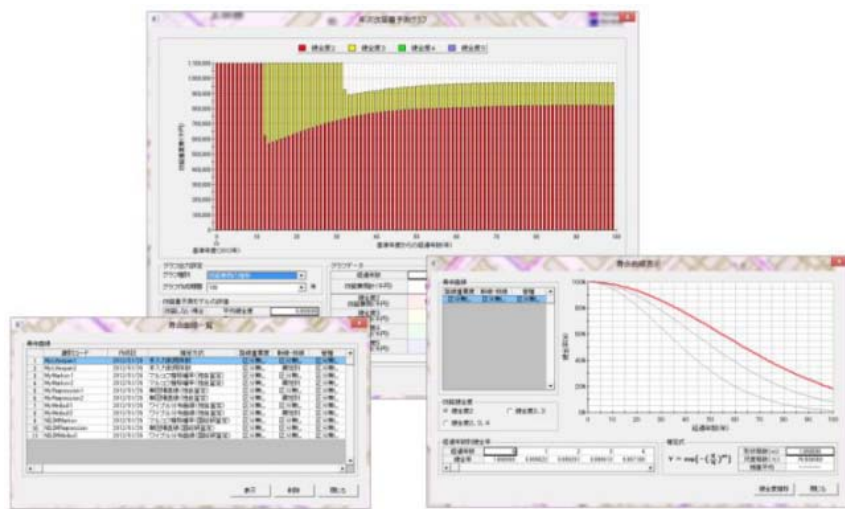
平成22年度に国土交通省から「下水道施設のストックマネジメント手法に関する手引き(案)」が発表され、具体的なストックマネジメント手法が提示されました。今後は、早期にストックマネジメントを実践し、将来的な改築事業量や点検調査量を把握し、リスクを考慮した事業の優先順位を決めることが求められます。

このためには、下水道管理者自らがいくつかのシナリオを立て、将来事業量を推計するストックマネジメントシステムが必要となります。

業務実施のメリットや効果

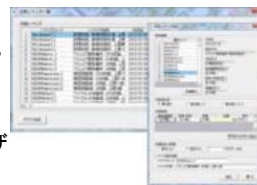
- ① 手引きに準じた手法での事業量推計ができます。
- ② ユーザーによるシナリオ設定や予算制約シミュレーションによる事業量推計ができます。
- ③ 管路長寿命化支援システムと連動することで、マイクロマネジメントからマクロマネジメントまでを連動することができます。

手引きに示された劣化モデルはもとより、自治体データによる独自の劣化モデルを作成でき、地域特性や特殊事情を考慮した劣化予測が可能となります。また、幹線・枝線別や重要路線・一般路線別及び管種別など細かい条件で劣化モデルを作成でき、精度の高いストックマネジメントを実践することができます。



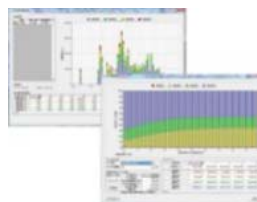
●寿命曲線設定機能

健全率予測式、劣化推移確率等により、管路をマクロ的に劣化診断します。ウィザードを用いて、各種の寿命曲線を定義することができます。



●改築シナリオ設定機能

改築する健全度、維持管理予算額を定義することで、寿命曲線と関連付けしユーザーによる任意のシミュレーションができます。



●改築シナリオ評価機能

改築シナリオに応じたシミュレーションを行い、将来の健全度推移や事業費を推計することができます。



●リスク設定機能

管路施設のリスク計算を行い、巡視点検、清掃、改築・修繕の優先順位を設定します。



●点検・調査計画策定機能
巡視点検、TVカメラ調査及び清掃の計画情報を登録管理します。



●改築・修繕事業管理機能
改築・修繕事業の工事情報を登録管理します。